

委員会活動

常任委員会
特別委員会



一般廃棄物最終処分場
建設予定地の現地視察



相生総合交流ターミナル合併
浄化槽等設置工事の現地視察

総務文教常任委員会

第5回（11月2日）

- ・町内視察結果について
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・職員との給与に関する条例の一部改正について

第6回（12月6日）

- ・特別職の給与減額措置について
- ・北海道胆振東部地震に伴う義援金について
- ・防災備品の整備について
- ・新公用車庫及び防災倉庫の建設計画について
- ・相生・本岐NHK共聴施設大規模改修工事について
- ・町立老人憩の家条例の一部改正について
- ・町税条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

- ・一般廃棄物最終処分場の建設日程（予定）について
- ・台湾二水郷中学生交流事業について
- ・スクールバス条例の一部改正について

第5回（11月2日）

- ・町内視察結果について
- ・契約締結の議決事項の変更について
- ・北海道胆振東部震災被害に伴う宿泊施設「ふっこう割」の実施について

第6回（12月7日）

- ・公の施設に係る指定管理者の指定について（木質ペレット製造施設）
- ・公の施設に係る指定管理者の指定について（森の健康館及び山村体験宿泊施設）
- ・町民の森自然公園ネイチャースセンター条例の制定について
- ・町民の森自然公園ネイチャースセンター条例の制定について
- ・町民の森自然公園ネイチャースセンター条例の制定について
- ・町民の森自然公園ネイチャースセンター条例の制定について
- ・相生総合交流ターミナル施設条例の一部改正について
- ・相生総合交流ターミナル施設条例施行規則の一部改正について
- ・スクールバス条例の一部改正について
- ・新ふるさと定住促進条例の一部改正について
- ・水道未給水地区整備事業補助金交付要綱の一部改正について
- ・水道未給水地区一般家庭飲用水水質検査実施補助金交付要綱の一部改正について

議会運営委員会

第6回（10月23日）

- ・議会運営に関する事項について

第7回（11月26日）

- ・第5回津別町議会臨時会の運営について
- ・平成29年度各会計決算の認定について

第8回（12月13日）

- ・第6回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

複合庁舎建設等調査特別委員会

第18回（11月30日）

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

第19回（1月15日）

- ・複合庁舎建設等まちなか再生について

議会広報特別委員会

- ・第10回（1月17日）議会報171号の編集について

報告された事項

第5回臨時会 （11月30日）

- 叙勲 ■高齢者に対するお祝い ■第4回全国木のまちサミット2018 in つべつ ■第30回住生活月間功労者表彰
- 第29回東京つべつ会総会の開催 ■まちづくり懇談会 ■丸玉木材株式会社からの寄附 ■高台配水池横の資材庫の火災

第6回定例会 （12月19日）

- バス47による進路ガイダンス ■善行表彰
- 北海道大学の学生団体「HALCC」による新たな地方創生事業成果報告会 ■北海道地区「デイスカパー農山漁村の宝」選定証授与 ■オホーツク地域おこし協力隊情報交換会 ■平成30年度北海道猟友会津別支部安全狩猟講習会の開催 ■農業者トレーニング室増築工事における不適正な事務処理 ■建設工事等の発注状況

第4回目となる議会報告会を11月16日「昼の部・夜の部」をさんさん館で開催し、議会の役割・議会運営・各常任委員会・複合庁舎建設等調査特別委員会への開催状況などを報告し、町政や議会に対するさまざまな意見・要望がだされ、活発な意見交換会となりました。



「議会報告会」 意見交換会 を開催

まちなか再生について

参加者

基金が現在の50億から平成39年14億になるということで、真実ならばとても不安。この事業だけで36億円使ってしまうという事なのか。

議会

これは10年間の財政シミュレーションで複合庁舎だけでなく、まちなか再生計画全部を含めたものです。このシミュレーションはかなり厳しくみており、いくら減つてもこれだろうという見積もりと説明を受けています。

参加者

複合商業施設はまちなか再生の中心となるものなので、民間事業者がでてこなくても、仕方がないではすまされないとと思うので、議会と町と十分に検討して成果をあげていただきたい。

議会

まちなかに買い物する場所がなくなるといふ状況は作らない。できるだけお金がかからず、将来的に安定して経営ができるような複合商業施設を皆さんの希望に沿うような形で作っていききたいと考えています。

参加者

まちづくり懇談会で健康医

療ゾーンの話がでていたが、高齢化率、交通弱者を考えると津別病院はなくてはならない施設だと思ふ。財政のことはあるが、今からある程度検討していくべきだと思ふ。あと町長が津別病院の基金云々言っていたが、聞いていいのでしょうか。

議会

津別病院は6年連続赤字と聞いています。町も補填を続けていますが、それでも病院はなくせないと考えていて、議会としても全会一致で存続に向けて努力していきたい。病院建設基金について聞いてはいます。

まちづくり会社について

参加者

資本金の出資、民間分の2千500万円の見通しがどうなっているか。あと、数年で利益計上になればいいが、万が一債務超過になった場合、町は追加出資を考えていないと回答しているが、将来的な責任についてどうなのか。また、議会としてどのようにチェックしていくのか。

議会

現在、統括マネージャーとサブマネージャーで事業計画

を作っています。この計画がしっかりしたものにならないければお金は集まりません。債務超過になるという可能性もあります。できるだけならないように、事業計画を議会としてもチェックし、その後の決算等の数字もチェックして、出資された方に迷惑がからないようにしていきたいと思ひます。

議会改革について

参加者

情報公開と町民参加をぜひ考えてほしい。

議会

全員で話し合う機会を持ち、取り入れられるものを考えてやっていきたいと思ひます。

参加者

議会の災害対策計画を考へるべきだと思ふ。

議会

管内の北網ブロック正副議長会で議題にもなりましたので、今後協議していきたいと思ひます。

その他

参加者

他町に通学している生徒に

多少の助成をしてもいいのではないか。

議会

一般質問の答弁の中では、町長の任期中はやらないという事です。

皆さまからの「意見

■60代〜70代

・提案型政策を（活力のある町づくり）若者の住みやすい町づくりを

・町政に対するチェック機能を發揮してほしい。

・芽室町に視察に行くべき。追認する議会からの脱却

・町の提案を受けるだけでなく、議会や議員から政策提言し対峙すべき。議会案の方を町民が支持するくらいな議会

改革を期待する。

・議会の役割に「町民に代わってさまざまな意見……」

とありますから、議員さんは町民の意見を聞く機会（懇談会等）を設けるべきと考えます。町長がやっていると議会が

やっていないのが不思議に思ひます。

・議会（議員）としての考えを示していただきたい。

（議会報告会アンケートより）

議会日誌

10月

- 18日 北網ブロック町議会議員研修会
(清里町)
- 23日 第3回決算審査特別委員会
第6回議会運営委員会
- 24日 オホーツク町村議会議長会役員会
(札幌市)
オホーツク圏活性化期成会秋季要望
(札幌市)
- 28日 東京つべつ会総会 (東京都)
- 31日 北網ブロック市・町議会正副議長
会議 (大空町)

11月

- 2日 第5回総務文教常任委員会
第5回産業福祉常任委員会
- 16日 議会報告会 (津別町)
- 21日 町村議会議長全国大会 (東京都)
- 26日 第7回議会運営委員会
- 30日 第5回津別町議会臨時会
第3回全員協議会
第18回複合庁舎建設等調査特別
委員会

12月

- 6日 第6回総務文教常任委員会
- 7日 第6回産業福祉常任委員会
- 13日 第8回議会運営委員会
- 19~20日 第6回津別町議会定例会
- 19日 第4回全員協議会

1月

- 15日 第19回複合庁舎建設等調査特別
委員会
- 17日 第10回議会広報特別委員会

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■ゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書 【要旨】

道教委が本年3月に公表した「これからの高校づくりに関する指針」では、依然として「望ましい学級規模を4から8学級とし再編整備を進める」ことを基本とし、地域の要望や実態をまったく踏まえたものとなっていない。今後も統廃合が進むことは明らかであり、「都市部への一極集中」や「地方の切り捨て」により地域間格差が増大することは、北海道地域全体の衰退につながる。すべての子どもたちに等しく後期中等教育を保障しなければならない教育行政として、学級定数の見直しを行うなど、地域に高校を存続させ、希望するすべての子どもにゆたかな学びを保障していくため、地域の意見・要望を十分反映させ、地域の経済・産業・文化の活性化を展望した新たな「高校配置計画」「高校教育制度」を創り出していくことが必要である。以上の趣旨に基づき、次の事項について要望する。

記

- 1 「これからの高校づくりに関する指針」は、地域の教育や文化だけでなく、経済や産業など地域の衰退につながることから、「高校間格差」「地域間格差」などの問題点を改善させる事項を盛り込むなど、抜本的に見直すこと。
- 2 すべての道内公立高校の学級定員を30人以下学級に引き下げること。
- 3 「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃するとともに、以前より高校が存在しない町村から高校へ通学する子どもたちも制度の対象とすること。

(以下省略)

副町長の選任

第1回臨時会が1月22日に開催され、1月24日で任期満了となる竹俣信行さんの後任に、伊藤泰広さん(本町・58歳・住民企画課長)が選任されました。

は ぐ る ま

今年、5月1日より新しい元号になりますが、平成を振り返ってみると、平成4年の秋の豪雨による網走川の大洪水で、川沿いの木にタマネギやニンジンなどの農作物がなったり、畑の中にカエルがいたり大きな被害を受けました。その後も何度か大雨がありましたが、それほどの被害にはなりませんでした。

平成16年1月には3日間に3mを超す大雪で、交通機関がまひしたこともありましたが、早くから植え付けが始められたが、5月中下旬から天候が崩れて豆類等の播種は遅れ、夏も曇雨天が続き秋になり回復しましたが、豆類は不作となり苦労の多い年でした。今進められている国営農地再編整備事業ができあがると、かなり緩和されると思います。また、議会報告会の中で皆さまから厳しいご意見をいただきましたので、町政に反映できるように頑張っていきたいと思えます。今後、皆さまの忌憚のないご意見等をいただければ幸いです。本年が皆さまにとって良い年になりますようご祈念し終わりとします。(乃村)